

もんし 聞思

発行所 光山寺
〒758-0063 萩市 大字山田4553
TEL (0838) 22-1370
http://kousanji.net

仏の教えを聞くと
「させてもらう」心が育てられ、
自分も他の人もともに
「ありがとう」の喜びに恵まれる。
寺川幽芳

伝灯奉告法要に参拝しました

平成二十六年六月に、本願寺の第二十五代の宗主・専如門主が法統を継承され（一般寺院でいう住職継職）、昨年十月より本年五月までの十期八十日間、八十座の伝灯統奉告法要が修行されています。この伝灯奉告法要はご門主さまが、法統を継承された事をご本山本願寺の阿弥陀さまと宗祖親鸞聖人の御前に奉告する法要で、一般寺院でいう住職継職法要にあたります。



この勝縁に萩組から八十二名が、三月二十八日に団体参拝しました。光山寺からは十名が法要に参拝し、萩組の皆さまと喜びを新たにしました。

■萩市民館で「仏教讃歌のつどい」開催！

本年七月八日（土曜日）に萩市民館で「仏教讃歌のつどい」が開催されます。本年は光山寺コーラス無憂華（指導、山中喜久子）の引き受けにて、山口教区内の仏教コーラスの十数団体が参加します。入場料は無料で、開場十二時半、開会十三時からとなります。

歌で伝える仏さまの心とお慈悲の温もりを多くの皆さまに感じて戴けたらと思います。是非、光山寺コーラスの日頃の練習成果もご覧ください。

第19回 仏教讃歌のつどい

歌で伝えよう 仏さまの心とお慈悲の温もり

入場料 無料

■納骨堂維持費徴収に関する概要

先にお知らせのとおり、この度光山寺納骨堂利用者の皆さまから納骨堂維持費を頂戴することとなりました。五月一日・二日に、新納骨堂利用規約の概要が説明されますが、ご利用の皆さまには詳細な新規約と同意書が送付されます。新利用規約への同意と継続利用、又は利用廃止を確認するために、「光山寺納骨堂 利用規約同意・使用許可等 申請書」に必ず記入捺印して返信ください。納骨壇・位牌壇の両方をご利用、又は他家の管理もされている方には複数枚の記入となりま

- 維持費（電気料、清掃費、部分修理費など）の徴収開始時期
※維持費は使用開始の翌年度から徴収することとする。
- 位牌壇について、新規の永代使用は今後取り扱わない。
- 納骨堂（納骨壇・位牌壇）での維持費は次のとおりとする。
※納骨壇の維持費（年額）は三千元、位牌壇の維持費（年額）は二千元とする。
- 継承者（相続人等）不在における永代管理期間は十五年とする。
- ※十五年経過した時点で、住職・総代会と協議のうえ移転していただきます。（無縁共同墓・位牌堂へ移転する場合があります。）

■住職補任式に上山しました

去る二月八日、若院が光山寺住職の辞令をご門主さまから頂戴する住職補任式を本願寺で受式しました。責任総代の堀誠一さんと京都のご本山に上山し、厳寒の時期ではありませんでしたが無事に受式しました。尚、光山寺での住職継職法要は平成三十一年以降を予定しております。詳細は決定次第お知らせいたします。



光山寺行事案内

平成二十九年年度前半の光山寺行事予定の一覧です。万障繰り合わせてご参加ください。

★光山寺法要

五月一日・二日（月・火曜）春季永代経法要（講師、中島昭念師）
九月二六・二七日（火・水曜）秋季永代経法要（講師、上原泰教師）

★山口教区・萩組

五月十五日（月曜）萩組初参式（萩幼稚園）
五月未定日（ ）萩組総代会総会・研修会（未定）
六月一日（土曜）山口別院、永代経法要（萩組参拝日）
六月未定日（ ）萩組仏教壮年会総会・研修会（未定）

★子供会（土曜学校）

五月未定日（曜）六月一七日（土曜）七月二日（日曜）
八月五日（土曜）※原則第三土曜家族の日に開催。

★仏教青年会

七月二・三・四日（土・日曜）萩組子供一泊合宿（萩幼稚園）
七月三〇日（日曜）萩組聞信徒の集い（萩幼稚園）

★仏教壮年会

六月十一日（日曜）午後六時 仏教壮年会総会（本堂）

★仏教婦人会

五月二日（日曜）午前九時半 光山寺初参式
五月二七日（土曜）午後一時半 全役員会
六月二日（木曜）午前八時半 清掃・莊嚴・リハーサル
六月二四・二五日（土・日曜）寺婦人会法座（講師、藤本弘信師）

★総代会

五月一四日（日曜）午後二時 合同
五月一四日（日曜）午後二時 総会（本堂）

★お経の練習会

五月十三日（土曜）六月十日（土曜）七月一日（土曜）
八月五日（土曜）九月九日（土曜）十月一四日（土曜）

★親鸞聖人讃仰会

六月一日（月曜）八月七日（月曜）
午後八時（本堂）

★雅楽練習会

午後七時半（庫裏）五月二八日（日曜）
※コーラスの練習日程についてはお問い合わせください。

山口別院定例法座・毎月五日午後一時半（一月は十時半）

萩こころの電話（三分間法話）

TEL 25-7710

西本願寺の時間（KRYラジオ）毎週日曜日午前六時から六時十分

募集・お知らせ



●お経の練習会(旧、礼讃の夕)五月十三日(土曜日)午後八時より今年も!

「正信念仏偈」の練習をしてきましたお経の練習会も今年で二十七年目となります。どなたでも参加できるお経の練習会として、本年も五月から十月までの月一度の練習(原則第二土曜日の午後八時)で、お経本(聖典)を中心に日常の基本的な修行の一通りを練習したいと思います。お経本をお持ちでない方は光山寺にて用意しますので参加当日にお申し出ください。

最近新しい参加の方も増えてつあります。特に壮年の方、はじめて参加の方は大歓迎です。(お申し込みは不要無料です)

●光山寺初参式 五月二十一日(日曜)午前九時半

親鸞聖人のご誕生月である五月には毎年婦人会主催により初参式を実施しています。今年も五月二十一日光山寺本堂にて開催されます。生後三年くらいまでのお子さんが対象となります。仏の子として育つため仏教のご縁に初めてあう合同の初参式です。昨今子供の減少が激しいところですが、どうかご親戚等に対象となるお子さんがいらっしゃいましたら是非お申し込み、ご参加ください。



尚、お子さんのお名前・生年月日等を光山寺までご連絡ください。当日参加できない方は個別の初参式や自宅での初参式も受け付けています。また、萩組の初参式は五月十六日に萩幼稚園にて開催予定です。

●親鸞聖人鑽仰会 会員募集!

親鸞聖人のみ教えを鑽仰し、同朋としての親睦を深める事を目的とした「親鸞聖人鑽仰会」を四月よりスタートしましたので、新規会員を募集いたします。ご門徒に限らず、年齢・男女を一切問わず、広く親鸞聖人のみ教えを勉強する学習会です。年会費は二千円で二ヶ月に一回の開催。昨年度からは、正信念仏偈を正しく学ぶことを中心に学習しています。浄土真宗聖典註釈版が必要となりますが、お持ちでない方は申し出てください。尚、開催は偶数月第三月曜日午後八時より(次回六月十九日)となりますのでご注意ください。(詳細は別紙にて申し込みください)

●萩組門信徒の集い(記念法座) 今年も萩幼稚園にて開催

前ご門主さまの萩組ご巡教を記念して毎年開催される萩組門信徒の集い(記念法座)は、本年度は萩幼稚園を会場に、七月三十日(日曜日)の午後一時半から開催されます。本年は、行信教授の天岸浄園先生を迎えてご法話頂く予定です。真夏の暑い時期ではありますが、萩幼稚園では冷房等も完備されています。多くの皆様にご参加いただきたいので、お誘い合わせてご参加ください。

●お寺で「ソ」(ソラ婚)の案内

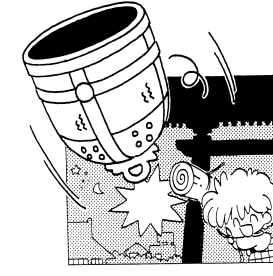
昨年十二月三日に、山口教区の寺族青年会の若朋会と仏教青年会の合同主催にて「ソラ婚」お寺で結ぶよ縁が開催されました。これまで数年開催されてきたが、今回は趣向を変えてバスツアーで、萩の街でのウォークラリーとなりました。毎回男女同数の限定参加者募集ですが、いつも女性参加者が先に定員に達します。今回のバスツアーでは三組のカップルが誕生しました。本年度の予定は未定ですが、秋には開催される予定です。

●除夜会で富くじ抽選会を盛大に開催

大晦日恒例の除夜会では、昨年末も富くじが実施されました。例年、除夜会は大晦日午後十一時半すぎより開催されるが、平成二六年より鐘をつかれる方全員に富くじ抽選券を配布し、除夜会終了後の新年のお勤めの「修正会」に引き続き、富くじ抽選会を実施しています。昨年も九十名を超える参加者があり、富くじ景品を得た人も二十人と、盛況にて終了しました。景品出品経費に際しては総代会と仏教青年会より、また福引き抽選会では仏教壮年会員にご協力頂きました。

●お寺でカレーを食べよう(山口別院)

山口教区仏教青年連盟では、お手をにご縁にどなたでもご参加できる交流の場として、定期的に「BAR」を開催しております。今回はお釈迦さまと親鸞さまの誕生日をお祝いしようと五月十三日(土曜日)午後五時より本願寺山口別院にて本格カレーを中心としたバーを開催します。アルコールを飲まれる方は会費二千円、ノンアルコールの方は千円にてスナック菓子や飲料も用意されています。どなたでもご参加ください。



●仏教豆辞典

『仏教用語豆辞典一〇〇』(本願寺出版社より)

「獅子身中の虫」

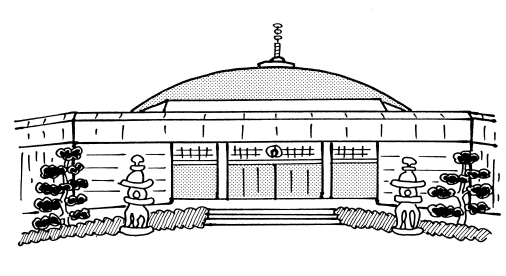
『梵網經』というお経の中に「師子身中の虫、自ら獅子の肉を食う」というたとえの文があります。師子は獅子・ライオンのことを指しています。ライオンの体内に寄生している虫は、ライオンの体の中に住んで恩恵を受けているにもかかわらず、その肉を食い、しかも身内の者のような顔をしていると、説明しています。そして、仏弟子の中にも、この虫のような者がいて、仏教徒の顔をしながら、実は仏法を破つていくと、警告しているのです。このたとえが「獅子身中の虫」という諺になりました。団体やグループなどで、味方のような顔をしながら内部から禍を発生させるもの、恩を仇で返す者、裏切り者を指しています。百獣の王といわれるライオンでも、内部からの禍はおそろしいということですよ。

「師匠」

「せんせいといわれるほどの……でなし」と、陰口をたたかれるほど、先生という名称は、どの分野でも、用いられるようになりました。先生ほどではありませんが、師匠という名称も広い範囲で使われています。師匠は、もともと仏教の師のことをいいました。匠とは大工という意味です。師が弟子に、仏道修行の基本的な修行である戒(戒律)・定(禪定)・慧(智慧)の三学を育成するそのやり方が、ちよと工匠が器をたくみに造り上げていくのと同じだということから、たとえて匠といったのが始まります。師匠はその後、学問や芸術、または武芸などを教える人もさすようになり、近世以後は、歌舞音楽など、遊芸の教授も「お師匠さん」と呼ぶようになりました。とくに落後界などではすっかり定着しています。

「四天王」

ゴルフ界の三羽鳥とか歌謡界の三名家など、ある分野で優れた人が三人いると、一まとめにこう呼んでいます。四人の場合にはよく「四天王」といいます。わが社の酒豪四天王やカラオケ四天王など、世間にはいろいろな四天王がいるものです。仏教でいう四天王は、世界の中心にそびえる須弥山の中腹にある四方の天に在る主で、帝釈天に仕え佛法を守護する四神のことです。東方の持国天、南方の增長天、西方の広目天、北方の多聞天です。これらは勇猛な神なので、武勇に優れた四人を四天王と呼びました。渡辺綱・坂田金時・確井貞光・四季武は源頼光の四天王ですが、源義経の四天王、織田信長の四天王、徳川家康の四天王は誰かを存じますか。やがて、和歌の四天王とか弓馬の四天王などと広い分野にも用いられ、今日のようになつたようです。



山口別院定例法座・毎月五日午後一時半(一月は十時半)

萩こころの電話(三分間法話) 電話2557710

西本願寺の時間(KRYラジオ) 毎週日曜日午前六時から六時十分